

# あの手 この手

2015  
8月号



▲緑野青空こども広場のピザ釜  
大和の森・公園シリーズ⑤⇒4面

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第97号 2015年8月10日発行



<やまと国際アートフェスタ>作品シリーズ その4

「みんなはひとつの家族」柳橋小2年(当時)／田野井紗蓮さんの作品(中国)

### 田野井紗蓮さんのメッセージ

今年度の表紙は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」主催の  
<やまと国際アートフェスタ>で入賞した作品を掲載します。  
今号は「Atelier My Heart賞」受賞作品です。

わたしは絵を描くことが大好きです。この絵は、  
家族や動物たちが地球の上で楽しそうに  
遊んでいる絵をワクワクしながら描きました。

### 「センター」のモットー あの手この手

楽しいことがあるのなら  
みんなで一緒に楽しもう  
あの手この手で考えて  
あの手この手で楽しもう  
困ったことがあるのなら  
みんなで一緒に解決しよう  
あの手この手で考えて  
あの手この手で解決しよう  
あの手この手の作戦会議  
あの手この手で問題解決

当センター主催の連続共育セミナーは、“気づき”“出会い”から新たな活動を目指す  
「まちづくりワークショップ」を3回シリーズで開催。第1回はワールドカフェ方式で  
みんなの思いからアイデアや活動のヒントを探ります。ただいま参加者を募集中。  
詳細は、本紙挟み込みのチラシをご覧ください。

## カッコーフェスタ「ワークショップ」参加団体募集中！

今年の市民活動団体交流まつり“カッコーフェスタ”は、11月7～8日に開催。この  
期間中、当センターの会議室を使い「ワークショップ」タイムを設けます。活動PR  
・講演・パフォーマンスなど各団体で自由に企画してください。1団体につき1時間、  
先着10団体です。お申し込みは当センターまで。

# ボランティアは 何のため？ 誰のため？

## 夏休み中高生のボランティア体験 「このゆびとまれっ！」オリエンを開催

7月24日(金)・27日(月)の2日間に、14校から49名の中高生が参加しました。オリエンテーションは、ボランティア希望の中高生が受け入れ団体のメンバーから、活動内容を直接聞くことができる絶好の機会なのです。

ボランティア活動に参加する意義、心得などを理解して参加してほしいとの思いで、オリエンテーションを開催しているのですが、果たして参加した中高生は？一通り説明が終わったところで、それぞれのブースに分かれ、詳しい内容を聞き、参加申込書に名前を記入して終了。複数のボランティア活動に挑戦する生徒も多く、今年の中高生のやる気を感じました。

ボランティア活動は、結果として自分のためになったと感じてくれば、主催者としてこんな嬉しいことはないのですが・・・。まずは、“はじめの一步”を踏み出した中高生の活動を見守りたいと思っています。

**【ちょっと裏話】**中学生3人から「今、しんちゃんハウスに来ているのですけど、だれもいないです」と電話が。「オリエンテーション会場は市民活動センターですよ。しんちゃんハウスには自転車で行ったの？」「はい」「南林間から市民活動センターまで来られますか？」「はい」「では、来て下さい。暑いので気を付けてね」と電話を切り、オリエンをスタートさせましたが、3人はなかなか現れません。担当スタッフが何度も携帯に電話をしたのですが、連絡がとれないまま、やっと到着。しんちゃんハウスのスタッフがまだいらしたので、個別に説明・対応していただくことができました。



真剣なまなざしで説明に聞き入る中高生たち

## ボランティアとの出会いの場 「出張！ボランティア総合案内所」を開設



7月30日(木)に市と共催で、イオンモール大和2階に「出張！ボランティア総合案内所」を開設しました。大勢の買物客が掲示板のボランティア募集チラシを見ていきました。なかには「夫に」と言って、ボランティア募集情報や団体のリーフレットを持ち帰る人も。

10時から14時までの短い時間でしたが、男性24名、女性42名、計66名の方が来訪。若い女性が多かったのが印象的でした。相談には当センターのコーディネーターが対応し、一人ひとり丁寧に趣味・関心・特技などを聞き取りました。

すでにボランティア募集のある活動は紹介し、募集のないものは、これから団体や施設と調整していきます。当センターは、いつでも相談できるボランティアとの出会いの場。思い立ったが吉日、いつでもお気軽にお立ち寄りください。土曜・祝日もやっています。



## 街づくり学校基礎コース「街づくり入門」から見えてきたもの 市主催の3回セミナーに参加して

このセミナーは、まちづくりコーディネーターの杉崎和久氏を講師に迎え、6/20・6/27・7/11に開催されました。

1回目は「街の姿・家の形を決めるルールを学ぶ」がテーマ。都市計画図を渡され、用途地域内の建築物には用途制限があることを学び、今まで漠然としか街を見ていなかったことに気づきました。秩序ある都市を形成するためのルールに都市計画法、建築基準法などがあり、土地の合理的な利用が図られるべきと説明され納得。

2回目の「地域独自のルールを学ぶ」では、都市計画法による地区計画、建築基準法による建築協定、景観法による景観協定、都市緑地法による緑地協定などがあり、大和市には街づくり協定としての「大和市みんなの街づくり条例」があることを学びました。

3回目の「街の魅力を発見する」では、まち歩きに。都市計画道路(福田相模原線)の実現にはどれほどの時間がかかるのか想像しながら、気づいたことをメモしつつ歩きました。また、南林間駅地区計画ガイドブックを確認しながら歩き、計画が実現した街はどんなだろうと楽しみになりました。

続いて、南林間一条通り商店街街づくり協定の実態を確認。街づくり協定には強制力がないので、セットバックしている建物していない建物があり、こんなものかと納得。まち歩きから帰ってきてからのワークショップは、感じたことをグループごとに地図に記入して終了しました。

まちづくりはハード面とソフト面が一体化して初めて本来の意味での「まちづくり」になるもの。9月からの当センター主催「まちづくりセミナー」にも、是非ご参加ください。

## 1450名余が亡くなった疎開船の悲劇 アニメ映画「対馬丸 さようなら沖繩」

昭和19年8月、沖繩には戦火が迫り、疎開のため対馬丸は本土へ向かいましたが、魚雷攻撃を受け沈没。この悲劇を描いたドキュメンタリーアニメーション映画を上映します。なお、当日は上映前に、ヒロシマ平和学習派遣の児童、生徒による報告会があります。

日時：8月23日(日) 13:00開場 13:30~16:30

会場：大和市保健福祉センターホール(400名)  
(小田急江ノ島線鶴間駅より東へ徒歩5分)

料金：前売500円 当日800円

※18歳以下は、前売・当日とも100円

販売所：大和市役所国際・男女共同参画課・イオンモール大和・イトーヨーカ堂大和鶴間店・イオンつきみ野店・イオン大和店(高座渋谷)

主催：大和市・大和市平和都市推進事業実行委員会

問合せ：TEL 046-260-5164 (保育予約8名まで可)

## 2015年度芸術フェスタvol.3 0歳児からのコンサート

ベビーも、ちびっこも、ママも、これからママになる人も、みんなで楽しめるコンサート。「スイミー」のお話も聴けます。当日は「このゆびとまれっ!」で集まった中・高校生9名とインターンの大学生2名も、ボランティアとして運営に参加します。

日時：8月25日(火) 9:30開場 10:00開演

会場：ウィーンホール(大和東1-12-4)

※大和駅北口より徒歩5分

出演：清水亜希子(ピアノ)・杉田美紀(フルート)・真崎佳代子(マリンバ)

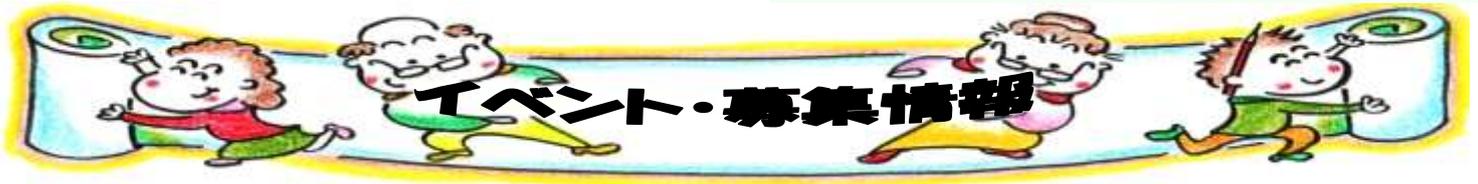
料金：大人~高校生1000円、中学生~3歳500円

※3歳未満は無料

主催：大和市芸術文化振興会

共催：ウィーンホール

問合せ：090-9156-2145 kotonestudio@gmail.com



## 市民劇団演劇やまと塾第20回公演 ミツコの肖像~バーテンバーデン2~ コメディタッチで描くごく普通の人たちの心温まる物語

街に騒動と温かい思いを残したあの事件から数年後。謎の大女優「原ミツコ」が姿を消した。街の人々は総出でミツコを探して……。2年前の第16回公演「バーテンバーデン」の続編にあたり、記念すべき20回目の公演です。2日間で夜・昼・夕方と3公演あります。

日時：8月29日(土) 19:00開演  
8月30日(日) 12:30開演/16:30開演

会場：大和市渋谷学習センター多目的ホール  
(小田急江ノ島線高座渋谷駅西口イコーザ2F)

料金：前売1000円 当日1200円

※高校生以下は、前売・当日とも500円

※保護者1名同伴時小学生2名まで無料券発行

問合せ：TEL 080-6771-4455 (演劇やまと塾事務所)

## その場所(トコロ)の専門家(ジスト)になろう! 「トコロジスト」養成講座

「トコロジスト」とは「その場所の専門家」という意味の造語で、特定分野の専門家ではなく、その場所への幅広い知識と愛着を持つ人のこと。今年で7年目となるこの養成講座。終了生約50人が市内5か所の緑地で観察会や生きもの調査などの活動を行っています。

日時：9/4・9/11・9/18・9/25  
(すべて金曜日/10:00~15:00)

会場：大和市自然観察センター・しらかしのいえ  
対象：大和市内の緑地で活動を希望する方(20人)

講師：箱田敦只氏/日本野鳥の会

料金：無料

持物：筆記用具・昼食

申込：電話または自然観察センター窓口で

TEL：046-264-6633/大和市上草柳1728

## やまと国際オペラ協会 会員募集中! 12月には設立記念ガラコンサート開催

やまと国際オペラ協会では、ただいま会員募集中です。12月には設立記念コンサートを開催。さまざまなオペラから、魅力ある序曲・アリア・重唱・合唱曲などを演奏します。将来上演するオペラの投票も行います。

日時：12月13日(日) 16:00開場 16:30開演  
会場：大和市生涯学習センター(深見西1-3-17)  
※大和駅北口より徒歩10分

出演：やまと国際フィルハーモニー管弦楽団  
(指揮：谷本喜基)  
やまと国際オペラ協会ソリスト・合唱団  
ゲスト：中島良史

料金：1500円

主催：やまと国際オペラ協会

後援：やまと国際フレンドクラブ

問合せ：046-272-1885(はせべ) info@yioa.net

「センター」のある日ある時

7月25日(土) 晴れ/猛暑!

幼児から大人までが参加する阿波踊りの“夢わかさ連”。おむつしてるの?と思われる子から小学生までの子どもたちが、当センターで賑やかに着替えの最中、車の中に置いてあった三味線の皮が破けたとハプニング発生。踊りに三味線がなかったら始まらない。あちこち連絡してやっと一丁借りられることに。衣装もバッチリ決まったところで出発! 小さい子どもたちが踊るだけで人気を集めたこと間違いなし。





＜出演しました！＞

録音CDが大和市民活動センターにあります。

anote

第242回◆7月7日放送分  
NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ (NALC)  
時間預託で遠距離支援も

絵画が趣味で「何かに心動かされたときに描いている」という市毛さん。ボランティアをして感謝されることが自分を満たしてくれると実感すると話されました。ナルクの時間預託制度は会員同士の助け合いの精神につながると話すのは、子どもの頃兄と遊んだ囲碁でボランティアをしている西崎さん。「私が行くのを待っていてくれる人がいるのが嬉しい」と顔をほころばせました。時間預託制度とは、1時間ボランティアをすると1点もらえ、貯まった点数で自分も助けられる制度です。「これからは、もっと会員同士で点数を利用していきたい」と話されたのは、テニス歴60年の福江さん。ナルク横浜では、草取り・食事づくり・話し相手などでチームをつくり、年配会員の助け合いに力を入れています。また、自分の点数は両親のためにも利用できるの、全国100以上の拠点に連絡をとり、遠距離支援も可能です。「会員同士の友好を深める同好会活動も盛んなので一緒に楽しみましょう」と呼びかけました。

第243回◆7月21日放送分  
Yamato子育てママ応援プロジェクト (ママプロ)  
ゆくゆくは、女性の就労支援もしたい

「晩婚化や少子化の解消に『街コン』という出会いの場を提供することにしました」と話されたのは、普段はマネー講座などを開かれている伊奈さん。街コン1回目は、ほぼ満席と好評なので、今後2ヶ月毎の開催を予定しているとか。ベビーマッサージ教室をされている宮森さんは、曲が流れると手拍子を取り踊り出す1歳9か月の和士君と出演。「現役のママたちが、今自分が欲しいものを自分たちで作っていこうと活動しているのがママプロ。だからサロンやご褒美講座へは気軽にお願いください」と呼びかけました。街コン第2回は9月12日(土)に、ベビーマッサージは、毎月第2・4月曜日に開催します。



＜8月の出演団体＞

※出演希望の団体を募集中！ 詳しくは当センターまで。

第244回◆8月4日放送  
市民劇団 演劇やまと塾

演劇の手法を通して、福祉施設・地域などでボランティア活動を行っています。現在、8月29・30日に「イコーザ」で開催する公演に向けて猛練習中。

第245回◆8月18日放送  
柏木学園高等学校生徒+介護のハッピー合同会社  
介護のハッピー合同会社が経営するデイサービス「ハッピー鶴間」。そこでボランティア活動をしている柏木学園高等学校の生徒たちが体験を語ります。

★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆

大和市の森・公園シリーズ／第5回

中央林間駅のすぐ南にある緑野青空子ども広場(ツリーガーデン)。ツリガの愛称で親しまれているこの広場は、2006年に協働事業により設置された「冒険遊び場」です。「プレイパーク」ともいい、決められた遊びではなく、火を使ったり、地面に穴を掘ったり、木に登ったり、何かをつくったり・・・やってみることができる遊び場なのです。「ケガは自分の責任」「危ないからダメはダメ」「禁止するのではなく一緒に考えやってみる」。こうした発想のもと、のびのびと思いきり遊べ、さまざまな体験を通じ、自主性・創造性・社会性を育む役割を果たしています。ツリガには写真のように大きな枝がゴロゴロし、土山があ



り、手作りトーテムポールもあり、ヒザ窯(表紙上写真)もあり、毎月バラエティに富んだ企画が開かれています。土日祝日の10~17時には、ボランティアやプレイリーダーが安心・安全のために遊びの指導もしています。2012年には、骨折事故により市側から閉鎖話も持ち上げりましたが、市民の声に支えられ継続が決定。かなり遊具は撤去されてしまいましたが、外遊びの減った現代の子どもたちにとっては、貴重でかけがえのない聖地となっています。

編集後記

猛暑日が続く今日この頃。一昨年、当センターの冷房が8月に故障し復活まで2週間かかり大変だったとか。私は幸い未経験ですが、今のところ冷房の機嫌は上々ですので、クールシェアスポットとしてお気軽にお立ち寄りください。(と)

「あの手この手」 第97号 発行日：2015年8月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月~土 9:00~18:00>  
〒242-0021 大和市中心 1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

e-mail : yamato@ar.wakwak.com

※祝日も9:00~18:00で開館しています。

http://www.kyoudounokyoten.com/